

二次予防事業の対象者の口腔機能向上の要件見直しにより二次予防事業の対象者は増加したが、事業参加率が低いという大きな問題が残されている。二次予防事業の対象者には口腔機能低下に対する自覚に乏しいことや、口腔機能低下を認めたくないという感情から、口腔機能向上事業参加を拒否する者が多い。したがって、一次予防事業と二次予防事業を一体化して実施することは、二次予防対象者の事業参加率改善のために有効な対策であると考えられる。

本研究で開発した教育ツールは、口腔機能の向上により生活の質を高めるというプラス思考のものであり、一次予防事業と二次予防事業の対象者の事業を一体化した事業実施が可能である。口腔機能低下の自覚がない者や自分が二次予防事業の対象者であると認めたくない者の参加も望めるため、二次予防事業の対象者の事業参加率が改善すると思われる。また、QOLを左右する食の楽しみ、会話、表情に対して口腔機能が大きな影響を与えることを、教育ツールの体験学習により自分の口腔で確認することが可能となる。その結果、二次予防事業の対象者が自ら望ましい行動変容を持続できる可能性が増し、介護予防効果も大きくなることが期待できる。

平成 23 年度

先行したモデル事業等の結果により、口腔運動、栄養の複合プログラムの介護予防効果が優れていることが確認され、現在、二次予防事業において複合プログラムが推奨されている。本研究で開発した複合プログラム用教育ツールに対する事業参加者の評価は高い。教育ツールは口腔機能向上の重要性と、口腔機能向上が運動器の機能向上及び栄養改善に効果があることを、平易な体験を通じて実感できるものである。

RSSTの積算時間が事後に有意な改善が認められ、特に事前のRSST2回以下の嚥下機能低下が疑われる者すべてが改善を示した。このことはこの教育ツールの有効性を示唆していると考えられる。また、高齢者の多くが複数の薬を服用している現状を考慮すれば、事前に薬が飲みにくいと答えた6人が事後には2名に減少したことは意味を持つと思われる。本研究で開発した複合プログラム用教育ツールに対する事業参加者の評価は高く、実用的であり、口腔機能に向上が見られた。したがって、本研究で開発した教育ツールは複合プログラムに適していると考えられる。

3) 平成 21 年度

(口腔機能向上サービス推進の人材育成・人材確保等の地域基盤の構築について)

口腔機能向上の普及・定着には、サービス提供を担う介護保険事業所の増加と、その実施現場を支える職員そして専門人材の歯科衛生士の確保と安定した定着が重要である。

とくに、介護保険通所サービス等の従事者の方が口腔機能向上サービスの具体的・実践的な理解が乏しく、映像情報の提供の必要性があると思われた。しかし、「加算しなくとも実施したい」という回答も多く、「必要な人材の配置」や「一連の事務処理の方法」など回答から、人材配置と事務処理の困難性が重要な課題として浮かび上がった。

一方、歯科衛生士は口腔機能向上サービスの概要は理解していたが、介護保険の通所サービス内容について理解するのに、本映像情報は役立っていた。

むしろ、歯科衛生士には未経験の介護福祉分野の職種との連携に違和感や緊張感を持つ者が多く、介護現場への慣れや簡単な実践的研修の必要性が認められ、今後、経験歯科衛生士とグループを組んで複数の事業者と雇用契約を行なうようなOJTを加味して発展できる体制づくりが必要と思われる。

平成 22-23 年度

(口腔機能向上の地域普及に資する住民主体型の啓発活動について)

口腔機能向上の普及・定着には、サービス供給側への対策だけでなく、口腔機能向上プログラムが地域社会の中に広く浸透する必要がある。

従来、住民主体で高齢者の歯科保健普及活動が行なわれてきた事例は、非常に少ない。しかし、今回の事例検証と調査結果から、口腔機能向上プログラムのお口の体操(健口体操)は、誰でも何処でも安全に実施でき、一定の効果もすぐ実感でき、方法も簡単であることから、その意義と普及方法を住民ボランティアに伝授することで、主体的に口腔機能向上の意義や必要性を地域の仲間楽しく分かりやすく伝えることができる。

このような、口腔機能向上プログラム実践の楽しさや効果の実感をもった住民が主体者となって地域社会の中に普及活動に加わることは、普及員の持つ地域への愛着や支えあいの絆づくりなど、いわば「ソーシャルキャピタル(社会関係資本)」の面からも今日注目される意義が認められる。今回の結果からも、この住民主体型の口腔機能向上の啓発普及活動体制の構築が、持続可能な地域活動となると伴に、ソーシャルキャピタル強化に

も寄与できる可能性が見出せた。

このような普及員の自発性や主体性を支え活動組織を育むには、普及現場で使える教材の提供や媒体づくりの支援、継続した研修の実施と併せて、普及員の組織化やつながり作りなどの最低限の支援は必要となる。

そのためには、市町村等の自治体のバックアップ体制、とりわけ体操の技術的な相談や保健医療面の専門的な助言、同時に、活動場所の斡旋、会員相互の連絡の支援、他の関連行政窓口との仲介など、活動上の種々の相談にも乗れる窓口等が、普及員から強く望まれている。

この窓口機能の役割として、自治体の担当職員できれば歯科衛生士や保健師等の保健医療の専門職員が、普及員の幅広い相談に乗るとともに、活動の場を斡旋するなどの活動の継続性を支える環境面での支援が極めて重要と思われる。

今後、都道府県や市町村の歯科保健部局による、このような住民主体の地域づくり型普及人材育成事業により、口腔機能向上の持続的・発展的な啓発普及に寄与できる可能性が示唆された。普及員の果たす口腔のヘルスプロモーションや地域づくりに着目した体制づくりが望まれる。

3. 認知症高齢者に対する効率的な口腔機能向上サービス提供法の検討

平成 21 年度

脳血管障害などとは異なる視点からの、認知症高齢者への口腔機能向上サービス提供の必要性が示唆された。

平成 22 年度

認知症高齢者への口腔機能向上サービスを効果的な提供には事前の客観的な認知機能評価が有効であること、口腔機能向上サービス提供は軽度、中等度のアルツハイマー型認知症高齢者の認知機能低下の抑制効果があること、以上が示唆された。

平成 23 年度

加齢変化、脳血管障害等だけでなく、認知症を考慮した口腔機能向上サービス提供の必要性が示唆された。当該サービス提供前の認知機能評価の有効性が示唆された。当該サービス提供により、軽度、中等度のアルツハイマー型認知症高齢者の認知機能低下の抑制効果があることが示唆された。

E. 結論

本研究事業を通じ、介護予防における口腔機能向上サービスの普及のための方策が示

され、サービスの効果を提示することが可能となった。高齢者が要介護状態になることを予防するための、歯科からの効果的なアプローチ方法の方策や有効性について明らかにすることができたことは、超高齢化社会を迎える我が国にとって、地域社会の活性化にも貢献することに繋がると考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表：

- 1) Aida J, Hanibuchi T, Nakade M, Hirai H, Osaka K, Kondo K: The different effects of vertical social capital and horizontal social capital on dental status: a multilevel analysis. *Soc Sci Med*, 69(4): 512-8, 2009
- 2) 野口有紀, 相田 潤, 丹田奈緒子, 伊藤恵美, 金高弘恭, 小関健由, 小坂健: 介護予防「口腔機能向上」プログラム対象者選定項目と歯科医療ニーズとの関連 要介護者を対象とした分析. *口腔衛生学会雑誌*, 59 巻 2 号.p111-117, 2009.04
- 3) Hamada R, Suehiro J, Nakano M, Kikutani T, Konishi K.: Development of rapid oral bacteria detection apparatus based on dielectrophoretic impedance measurement method. *IET Nanobiotechnol*. 2011 Jun;5(2):25.
- 4) Kikutani T, Yoneyama T, Nishiwaki K, Tamura F, Yoshida M, Sasaki H.: Effect of oral care on cognitive function in patients with dementia. *Geriatr Gerontol Int*. 2010, Oct; 10(4): 327-8. doi:10.1111/j.1447-0594.2010.00637.x. No abstract available.
- 5) Yoshida M, Kikutani T, Okada G, Kawamura T, Kimura M, Akagawa Y: The effect of tooth loss on body balance control among community-dwelling elderly persons. *The International Journal of Prosthodontics*. 2009; 22(2): 136-139.
- 6) 井上博雅, 吉野賢一, 久保田浩三, 辻澤利行, 園木一男, 吉田成美, 高見佳代子, 栗野秀慈, 仲西修, 柿木保明, 西原達次: 社会的ニーズに対応した歯科保健医療教育プログラム開発のための調査研究 *九州歯科学会雑誌* 63 巻 277-290 2010 年

- 7) 本田武司, 北村憲司, 宮崎隆, 西原達次, 木村博人, 戸塚靖則, 中居賢司: 口腔医学を見据えた歯科医学教育の再考 日本歯科医学教育学会雑誌 26 巻 322-325 2010 年
- 8) 関野 愉, 米山武義著, 下山和弘, 櫻井薫, 深山治久, 米山武義編: (分担執筆). 歯周治療 日本老年歯科医学会監修 高齢者歯科診療ガイドブック, 2010, 85-89
- 9) 平野浩彦, 細野 純監修: (分担執筆) 実践! 介護予防口腔機能向上マニュアル. 財団法人 東京都高齢者研究・福祉振興財団, 2010.
- 10) 平野浩彦: 【効果的な介護予防事業の展開】いつまでも口から食べるよるこびのために 簡単・口腔機能の向上. *Aging & Health*, 19 (2): 25-27, 2010
- 11) 平野浩彦: 【高齢者の口腔機能とケア】 高齢者における口腔ケアの実際 介護予防における口腔機能向上サービスとは. *Advances in Aging and Health Research*, 2009: 117-124, 2010
- 12) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第6回) 認知症を支える家族の気持ちを理解する. *歯科衛生士*, 34 (6): 68-71, 2010
- 13) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第4回) 認知症の原因疾患とケアのポイント(1). *歯科衛生士*, 34 (4): 86-89, 2010
- 14) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第5回) 認知症の原因疾患とケアのポイント(2). *歯科衛生士*, 34 (5), 70-73, 2010
- 15) 平野浩彦: 認知症高齢者への歯科的対応 どこまで歯科治療を行うべきか(第4回) 認知症高齢者における口腔のケア. *日本歯科評論*, 70 (4): 93-100, 2010
- 16) 平野浩彦: 食べる機能障害の理解に必要な基礎知識 認知症による障害も視野に入れたケアのために. *介護福祉*. 77: 9-23, 2010
- 17) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第1回) 認知症の基礎知識. *歯科衛生士*. 34 (1): 74-77, 2010
- 18) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第2回) 認知症ケアの基礎知識(1). *歯科衛生士*, 34 (2): 78-81, 2010
- 19) 平野浩彦: あなたは認知症を本当に理解していますか 認知症ケアの中で歯科衛生士が果たす役割を考える(第3回) 認知症ケアの基礎知識(2). *歯科衛生士*, 34 (3): 78-81, 2010
- 20) 八重垣 健: 口臭症の基礎知識: 定期受診は歯科を活性化する. *東京都歯科医師会雑誌*, 59: 361-370, 2011
- 21) Shin K, Yaegaki K, Murata T, Ii H, Tanaka T, Aoyama I, Yamauchi K, Toida T, Iwatsuki K: Effects of a composition containing lactoferrin and lactoperoxidase on oral malodor and salivary bacteria: a randomized, double-blind, crossover, placebo-controlled clinical trial, *Clinical Oral Investigations*, 15:485-493, 2011
- 22) 渡邊 裕, 枝広あや子, 伊藤加代子, 岩佐康行, 渡部芳彦, 平野浩彦, 福泉隆喜, 飯田良平, 戸原 玄, 野原幹司, 大原里子, 北原 稔, 吉田光由, 柏崎晴彦, 斎藤京子, 菊谷 武, 植田耕一郎, 大淵修一, 田中弥生, 武井典子, 那須郁夫, 外木守雄, 山根源之, 片倉 朗: 介護予防の複合プログラムの効果の特徴づける評価項目の検討-口腔機能向上プログラムの評価項目について-. *老年歯科医学*, 26: 327-338, 2011.
- 23) 渡邊 裕: 高齢者の口腔の問題について *都葉雑誌* 33: 10-14 2011.
- 24) 渡邊 裕: 【医師に知ってほしい高齢者歯科の知識】 NSTにおける歯科の役割. *Geriatric Medicine*, 49: 545-549, 2011.
- 25) 田代晴基, 田村文誉, 平林正裕, 濱田了, 米山武義, 菊谷 武: 新しい簡易口腔内細菌数測定装置の介護現場における臨床応用, *障歯誌* 33 (1), 85-89, 2012.
- 26) Koichiro Ueda: Prevent Aspiration Pneumonia by Oral Health Care: *Japan Medical Association Journal*, Vol. 54, No.1, 39-43, 2011.
- 27) 戸原 玄, 和田聡子, 三瓶龍一, 井上統温, 佐藤光保, 飯田貴俊, 鰐原賀子, 岡田猛司, 島野嵩也, 石山寿子, 中川量晴, 植田耕一郎: 簡易な開口力測定器の開発-第1報: 健常者の開口力, 握力お

- よび年齢との比較一, 老年歯科医学雑誌 26(2), 78-84, 2011
- 2 8) 井上博雅, 吉野賢一, 久保田浩三, 辻澤利行, 園木一男, 吉田成美, 高見佳代子, 栗野秀慈, 仲西 修, 柿木保明, 西原達次: 社会的ニーズに対応した歯科保健医療教育プログラム開発のための調査研究. 九州歯科学会雑誌, 63: 277-290, 2010
 - 2 9) 本田武司, 北村憲司, 宮崎隆, 西原達次, 木村博人, 戸塚靖則, 中居賢司: 口腔医学を見据えた歯科医学教育の再考. 日本歯科医学教育学会雑誌, 26: 322-325, 2010
 - 3 0) 中原孝洋, 西原達次: e-Learning を用いた国家試験・CBT 向けシステムの活用(第2報). 九州歯科学会, 2011年5月, 北九州市.
 - 3 1) 中原孝洋, 西原達次: e-Learning を用いた国家試験・CBT 向けシステムの活用. 九州歯科学会m2010年5月北九州市.
 - 3 2) T.Nakahara, T.Nishihara: Survey questions of e-learning about dental student. Japan Association of Dental Research. Nov 2010, Kitakyushu, Japan.
 - 3 3) Ayako Edahiro, Hirohiko Hirano, Ritsuko Yamada, Yumi Chiba, Yutaka Watanabe: Factors Affecting Independence in Eating among Elderly with Alzheimer's Disease. Geriatr Gerontol Int. 2011, (in press)
 - 3 4) Yuki Ohara, Hirohiko Hirano, Yutaka Watanabe, Ayako Edahiro, Emiko Sato, Shoji Shinkai, Hiroto Yohida, Shiro Matakai: The degree of masseter muscle tension and its relationship with chewing ability in Japanese elderly .Geriatr Gerontol Int.(submitted)
2. 学会発表:
- 1) 関野 愉, 沼部幸博, 久野彰子, 田村文誉, 菊谷 武: 歯周病学的パラメータと付着の喪失との相関について-2年間の観察研究-日本歯周病学会 2009
 - 2) 関野愉, 菊谷武, 田村文誉, 久野彰子, 藤田佑三, 沼部幸博, 島田昌子, 花形哲夫: 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態に影響を及ぼす要因の検討. 第20回日本老年歯科医学会総会, 2009, 6月
 - 3) 久野彰子, 菊谷武, 田村文誉, 関野愉, 沼部幸博, 島田昌子: 介護老人福祉施設入居者における唾液中の歯周病原性細菌数と歯周病との関連. 第20回日本老年歯科医学会, 2009, 6月
 - 4) 中原孝洋, 西原達次: e-Learning を用いた国家試験・CBT 向けシステムの構築. 九州歯科学会, 2009年5月
 - 5) 中原孝洋, 西原達次, 寺下正道, 福田仁一: 統合認証によるオンデマンド実習ライブラリシステムの構築, 第28回日本歯科医学教育学会学術大会, 2009年11月
 - 6) 相田 潤, 近藤尚己, 市田行信, 白井こころ, 埴淵知哉, 村田千代栄, 平井寛, 近藤克則: 個人レベルのソーシャルキャピタルと死亡の関連 AGES 前向きコホート研究. 日本公衆衛生学会総会抄録集.68回.p508 (2009.10)
 - 7) 相田 潤, 晴佐久悟, 大石憲一, 大石恵美子, 古川清香, 田浦勝彦: 日本における水道水中のフッ化物イオン濃度と3歳児う蝕との関連. 口腔衛生学会雑誌.59巻4号.p519 (2009.08)
 - 8) 相田 潤, 小齋 薫, 小坂 健: ソーシャルサポート、ネットワークを中心とした育児環境と3歳児う蝕の関連. 口腔衛生学会雑誌. 59巻4号.p459 (2009.08)
 - 9) 野口有紀, 相田 潤, 若栗真太郎, 大原里子, 北原 稔, 中川律子, 関口晴子, 猪野恵美, 池山豊子, 小坂 健: 歯科衛生士の関わる介護予防「口腔機能の向上」プログラムの効果の検討について. 口腔衛生学会雑誌. 59巻4号.p336 (2009.08)
 - 1 0) 伊藤 奏, 相田 潤, 野口有紀, 大原里子, 北原 稔, 中川律子, 関口晴子, 猪野恵美, 池山豊子, 若栗真太郎, 小坂健: 歯科衛生士派遣型の介護予防プログラムのモデル事業について. 口腔衛生学会雑誌.59巻4号.p335 (2009.08)
 - 1 1) 若栗真太郎, 相田 潤, 森田 学, 安藤雄一, 小坂健: 食器の共用や食物の口移しを注意すれば、う蝕は予防できるのか?. 口腔衛生学会雑誌. 59巻4号. p313 (2009.08)
 - 1 2) 相田 潤: 口腔疾患の健康格差 健康格差と社会的決定要因. 口腔衛生学会雑誌. 59巻4号. p284 (2009.08)
 - 1 3) 久保山裕子, 川辺直子, 天本和子, 高野ひろみ, 菊谷 武: 口腔機能向上のための人材育成とサービス提供事業者への

- 人材紹介システム. 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 1 4) 由井 悟, 渡辺秀昭, 鷺見浩平, 阿久津仁, 志村隆司, 盛池暁子, 丸山幸江, 花形哲夫, 田村文誉: 歯科医師会が実施した口腔機能向上プログラムの効果. 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
 - 1 5) 池山豊子, 小澤浩美, 菊谷 武: 「口腔機能向上サービス」の普及に向けた無料職業紹介事業活用歯科衛生士人材バンク. 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
 - 1 6) 田代晴基, 高橋賢晃, 平林正裕, 初田将大, 保母妃美子, 濱田 了, 田村文誉, 菊谷 武: 口腔内細菌数に影響を与える因子の検討. 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
 - 1 7) 関野 愉, 菊谷 武, 田村 文誉, 久野彰子, 藤田 佑三, 沼部 幸博: 台東区介護老人福祉施設入居者の歯周疾患罹患状況の推移, 第 53 回春季日本歯周病学会学術大会, 盛岡 2010.4
 - 1 8) 関野 愉, 菊谷 武, 田村 文誉, 久野彰子, 藤田 佑三, 沼部 幸博: 介護老人福祉施設における専門家による口腔ケアの歯周病進行抑制効果, 日本老年歯科医学会第 21 回学術大会, 新潟. 2010.6
 - 1 9) 久野彰子, 関野 愉, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護老人福祉施設における肺炎の発症と歯周疾患との関連, 日本老年歯科医学会, 第 21 回学術大会, 新潟. 2010.6
 - 2 0) Sekino S, Kikutani T, Tamura F, Hisano A, Fujita Y, Numabe Y: Longitudinal Changes in Periodontal Disease in Elderly in Nursing Home, The 96th Annual Meeting of American Academy of Periodontology in Collaboration with the Japanese Society of Periodontology. (October, 30, 2010, Hawaii, USA)
 - 2 1) 渡邊 裕, 池主憲夫, 武井典子, 植田耕一郎, 大原里子, 菊谷 武, 北原 稔, 戸原 玄, 平野浩彦, 渡部芳彦, 有岡享子, 岩佐康行, 飯田良平, 柏崎晴彦, 伊藤加代子, 石田 瞭, 野原幹司, 横山正明, 相田 潤, 小坂 健, 眞木吉信, 山根源之: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究 第一報 平成 21 年度介護報酬改定の通所事業所への影響, 第 21 回日本老年歯科医学会総会学術大会, 新潟, 2010. 6
 - 2 2) 岩佐康行, 渡邊 裕, 池主憲夫, 植田耕一郎, 菊谷 武, 北原 稔, 戸原 玄, 平野浩彦, 渡部芳彦, 有岡享子, 飯田良平, 伊藤加代子, 石田 瞭, 野原幹司, 小坂 健, 眞木吉信, 山根源之: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究～口腔機能向上サービスの普及・啓発のための研修結果～, 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2010. 9
 - 2 3) 横山正明, 渡邊 裕, 池主憲夫, 武井典子, 相田 潤, 伊藤加代子, 石田 瞭, 平野浩彦, 北原 稔, 大原里子, 眞木吉信: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究 —21 年度介護報酬改定の都道府県・市への影響, 第 59 回日本口腔衛生学会・総会, 新潟, 2010.10
 - 2 4) 中原孝洋, 西原達次. e-Learning を用いた国家試験・CBT 向けシステムの活用. 九州歯科学会, 2010 年 5 月, 北九州市.
 - 2 5) T.Nakahara, T.Nishihara: Survey questions of e-learning about dental student. Japan Association of Dental Research. Nov 2010, Kitakyushu, Japan.
 - 2 6) 関口晴子, 大淵修一, 小島成実, 新井武志, 平野浩彦, 小島基永: 遠隔型口腔機能向上プログラムの効果の検討. 日本老年医学会雑誌, 47 (3) : 226-234, 2010
 - 2 7) Ohara Y, Hirano H, Yoshida H, Suzuki T: Ratio and associated factors of dry mouth among community-dwelling elderly Japanese women. Geriatr Gerontol Int. 2010 Aug 30. [Epub ahead of print]
 - 2 8) 平野浩彦, 枝広あや子, 大堀嘉子, 大内ゆかり, 菅 武雄, 渡邊 裕, 戸原 玄, 千葉由美, 山田律子, 山根源之: 認知症高齢者の食行動実態調査報告 第 1 報 —認知症重症度別食事関連 BPSD 発生頻度について—, 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2010. 9
 - 2 9) 枝広あや子, 平野浩彦, 渡邊 裕, 戸原 玄, 新谷浩和, 高田 靖, 細野 純, 佐々木健, 山田律子, 山根源之: 認知症高齢者の食行動実態調査報告 第 2 報 —アルツハイマー型認知症と前頭側頭型認知症の特徴—, 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2010. 9

- 3 0) 山田律子, 平野浩彦, 枝広あや子, 千葉由美, 戸原 玄, 佐々木健, 新谷浩和, 細野 純, 大堀嘉子, 渡邊 裕: 認知症高齢者の特徴—認知症の重症度および原因疾患別の分析, 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2010. 9
- 3 1) 大堀嘉子, 田中香南江, 長本節子, 井上義臣, 奥田しのぶ, 飯田良平, 平野浩彦: アルツハイマー型認知症高齢者における食行動障害への支援経験, 第 16 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2010. 9
- 3 2) 平野浩彦, 枝広あや子, 小原由紀, 大堀嘉子, 渡邊 裕, 新谷浩和, 高田 靖, 佐々木健, 細野 純, 山田律子, 鈴木隆雄: 第 11 回日本認知症ケア学会, 神戸, 2010. 10
- 3 3) 枝広あや子, 平野浩彦, 大内ゆかり, 渡邊 裕, 戸原 玄, 千葉由美, 山田律子, 山根源之: 認知症高齢者の食行動に関する実態調査報告(第 1 報) 食事関連 BPSD 調査票の考案, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 4) 枝広あや子, 平野浩彦, 小原由紀, 大内ゆかり, 大堀嘉子, 菅 武雄, 渡邊裕, 戸原玄, 千葉由美, 新谷浩和, 高田靖, 細野 純, 佐々木健, 那須郁夫, 山田律子, 山根源之, 鈴木隆雄: 認知症高齢者の食行動に関する実態調査報告(第 2 報) 認知症の原因疾患および重症度の視点から, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 5) 新谷浩和, 平野浩彦, 鈴木 央, 山田律子, 細野 純, 大堀嘉子, 竹内嘉伸, 枝広あや子, 渡邊 裕, 勝田優一, 倉治隆: 認知症高齢者の地域ケア 食事ケアでの歯科支援システムの提案(大田区での取り組みの概要報告), 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 6) 高田 靖, 大内ゆかり, 中島陽州, 中村全宏, 山岸春美, 藤田まどか, 会沢咲子, 平野浩彦: 東京都豊島区における医師会・歯科医師会・薬剤師会との在宅医療連携について, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 7) 大内ゆかり, 山岸春美, 藤田まどか, 高田 靖, 中島陽州, 中村全宏, 平野浩彦: 東京都豊島区における在宅医療の他職種連携退院時カンファレンス, サービス担当者会議の歯科の参加, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 8) 藤田まどか, 大内ゆかり, 山岸春美, 会沢咲子, 蛭谷明希, 高田 靖, 中島陽州, 平野浩彦: 特別養護老人ホーム職員に向けての「口腔ケア」研修会報告, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 3 9) 宮下順子, 平野浩彦, 大堀嘉子, 矢澤正人, 枝広あや子, 小原由紀: 認知症高齢者の食行動レトロスペクティブ調査, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 4 0) 山岸春美, 平野浩彦, 大内ゆかり, 藤田まどか, 枝広あや子, 渡邊 裕, 高田靖, 菊谷 武: 認知症・要介護高齢者の口腔機能を中心とした実態調査 地域歯科医師会主催特別養護老人ホーム歯科検診から, 第 21 回日本老年歯科医学会学術大会, 新潟, 2010. 6
- 4 1) 大原里子, 宮下順子, 柳澤智仁, 大山篤, 俣木志朗: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究—特定高齢者・一般高齢者共用教育ツールの開発—, 59 回日本口腔衛生学会総会, 新潟, 2010. 10
- 4 2) 北原 稔: (示説発表) 住民主体による地域づくり型歯科保健活動の試み〜「健口体操」による高齢者の口腔機能向上普及活動から〜, 第 59 回日本口腔衛生学会総会, 新潟, 2010.10 月 (口腔衛生学会雑誌; 60(4), 486, 2010.)
- 4 3) 渡邊 裕, 武井典子, 植田耕一郎, 菊谷 武, 福泉隆喜, 北原 稔, 戸原 玄, 平野浩彦, 渡部芳彦, 吉田光由, 岩佐康行, 飯田良平, 柏崎晴彦, 伊藤加代子, 野原幹司, 山根源之: 介護予防における口腔機能向上サービスの推進に関する研究 —介護予防における包括サービスの効果について—. 第 22 回日本老年歯科医学会総会学術大会, 東京, 2011.6
- 4 4) 飯田貴俊, 稲本陽子, 柴田斉子, 加賀谷斉, 才藤栄一, 植田耕一郎: 嚥下運動中の咽頭腔体積変化 (320 マルチスライス CT を用いた検討), 第 63 回日本大学歯学会総会, 2011.5. 21. (東京).
- 4 5) 井上統温, 平場久雄, 山岡 大, 植田耕一郎: 耳下腺上顔面皮膚への振動刺激による唾液分泌機序の解明-健常者での評価-, 第 63 回日本大学歯学会総会, 2011.5. 21. (東京).
- 4 6) 和田聡子, 戸原 玄, 井上統温, 佐藤光保, 飯田貴俊, 植田耕一郎: 食道入口部開大不全に対する開口運動を利用した訓練法の効果, 第 63 回日本大学歯学会総会, 2011.5. 21. (東京).
- 4 7) 植田耕一郎: 口腔機能向上と補綴歯

- 科, 第 120 回日本補綴歯科学会シンポジウム, 広島, 2011.5. 22.
- 4 8) 関野 愉, 久野彰子, 菊谷 武, 田村文誉, 藤田佑三, 高橋亮一, 沼部幸博: 要介護高齢者と地域在住高齢者の口腔内状況の比較. 老年歯科医学, 24 卷 3 号(日本老年歯科医学会第 22 回学術大会にて発表)
- 4 9) 久野彰子, 関野 愉, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博: 介護老人福祉施設の歯周病検診における代表歯検査と全歯検査の比較. 老年歯科医学, 24 卷 3 号(日本老年歯科医学会第 22 回学術大会にて発表)
- 5 0) 大原 里子: 第 70 回日本公衆衛生学会・総会平成 23 年 10 月 19 日~21 日秋田市秋田アトリオン
- 5 1) 北原 稔: 第 70 回日本公衆衛生学会総会(2011 年 10 月 20 日(木):秋田)、「健口体操」による住民主体の地域づくり型口腔保健活動の構築～ 健口体操普及員の現状から(日本公衆衛生学会誌;2011)
- 5 2) 山田律子, 内ヶ島伸也, 千葉由美, 鈴木真理子, 平野浩彦, 枝広あや子: 認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴とケアの方向性 認知症の原因疾患と重症度を踏まえた分析. 日本老年学会第 27 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 3) 枝広あや子, 平野浩彦, 山田律子, 千葉由美, 佐藤絵美子, 渡邊裕, 小原由紀, 大堀嘉子, 菅武雄, 戸原玄, 新谷浩和, 高田靖, 細野純, 佐々木健, 古賀ゆかり, 那須郁夫, 山根源之, 鈴木隆雄アルツハイマー型認知症患者の自立摂食を支援するために 食行動実態調査の結果から. 日本老年学会第 27 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 4) 佐藤絵美子, 平野浩彦, 渡邊裕, 戸原玄他: 認知症高齢者嗅覚機能は食行動に影響するか—アルツハイマー型認知症を中心に—, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 5) 蛭谷明希, 山岸晴美, 高田靖, 平野浩彦, 菊谷武: 「口腔機能向上プログラム」の参加者と非参加者の比較—口腔機能と認知機能の変化—, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 6) 平野浩彦, 高田靖, 古賀ゆかり, 枝広あや子, 渡邊裕, 新谷浩和, 鈴木隆雄: 認知症高齢者口腔機能の実態報告—4 年間の追跡調査で見えてきたこと—, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 7) 高田靖, 宮本敦子, 古賀ゆかり, 山岸晴美, 平野浩彦: 「口腔機能向上」サービス継続利用の効果について, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 8) 新谷浩和, 平野浩彦, 鈴木央, 山田律子, 枝広あや子, 富田かおり, 細野純: 在宅認知症高齢者の食事支援での多職種連携構築, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 5 9) 勝田優一, 中川量晴, 富田かおり, 向井美恵, 平野浩彦: 在宅認知症高齢者の食行動とその支援第一報: 義歯の装着状況と摂取食物形態の関連, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 0) 富田かおり, 中川量晴, 向井美恵, 平野浩彦: 在宅認知症高齢者の食行動とその支援第二報: 認知症レベルと食行動の関連, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 1) 中川量晴, 富田かおり, 向井美恵, 平野浩彦: 在宅認知症高齢者の食行動とその支援第三報: 指導内容とその効果, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 2) 大堀嘉子, 田中香南江, 飯田良平, 平野浩彦: 認知症高齢者グループホーム入居者における食支援, 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 3) 小原由紀, 平野浩彦, 枝広あや子, 渡邊裕, 俣木志朗, 山根源之: 高齢者口腔機能評価としての咬筋触診の有効性の検討 第 1 報 —地域高齢者を対象とした調査から— 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 4) 小原由紀, 平野浩彦, 枝広あや子, 渡邊裕, 俣木志朗, 山根源之: 高齢者口腔機能評価としての咬筋触診の有効性の検討 第 2 報 —地域高齢者の生活機能・全身機能との関係— 日本老年歯科医学会第 22 回大会、東京、2011.6.15-17
- 6 5) 枝広あや子, 平野浩彦, 山田律子, 千葉由美, 佐藤絵美子, 渡邊 裕, 小原由紀, 山根源之, 片倉朗, 鈴木隆雄: アルツハイマー型認知症と血管性認知症への食事関連 BPSD アセスメント～食行動観察からの分析～, 日本認知症ケア学会第 12 回大会, 横浜, 2011.9.24-25
- 6 6) 平野浩彦, 枝広あや子, 古賀ゆかり, 高田靖, 渡邊裕, 鈴木隆雄: 認知症高齢者における摂食・嚥下機能の経年的変化-4 年間

の追跡調査から、日本認知症学会第30回
大会，東京，2011.11.11-13

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

福岡県歯科衛生士会2011年事業概要

歯科衛生士に対する事業

- 口腔機能向上研修会:15人×4日間
施設支援ができる歯科衛生士育成
- 「ナースが行う口腔機能向上」研修会
口腔ケア実習の補助
- 施設への出張相談実践研修
- 登録の呼び掛け(通年)

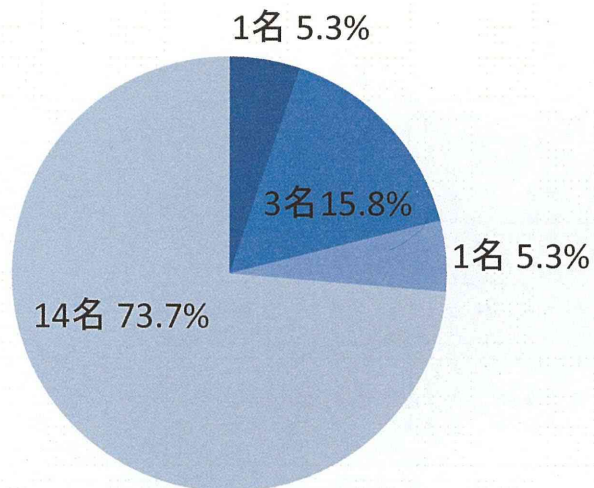
事業所に対する事業

- 「ナースが行う口腔機能向上」研修会実施
参加者:68
- 無料相談所の開設(通年)
- 施設での口腔機能向上説明会の実施:11
- DH紹介ホームページのリニューアル

仕組み活用

人材派遣モデル事業

- 介護施設への求職DH:
73(今年度新求職者13)
- 介護事業者からの求人:1
- 問い合わせ・相談数:14
- 人材紹介数:1



- 常勤で就労した
- パートで就労した
- パートの依頼があったが就労しなかった
- かかわることはなかった

モデル事業に参加した歯科衛生士19名の 1年後の口腔機能向上サービスへの関与状況

平成22年度のモデル事業で実際に通所事業所で口腔機能向上サービスに従事した19名の歯科衛生士のうち、4名(21%)は常勤ないしパートで口腔機能向上サービスに従事していた。また、1名にはパートでの就労の依頼があった。

事業所や介護職が口腔機能向上サービスの実際や歯科衛生士について理解すれば介護現場での口腔機能向上サービスのニーズは十分にある。

介護現場での口腔機能向上サービスの実務研修により、介護現場で働く歯科衛生士を効率よく確保養成できる。

口腔機能向上サービスの普及・定着には、歯科衛生士の通所事業所での実務研修支援が必要。平成24年度からは複合プログラムの評価がなされることから、歯科衛生士の養成は急務と考える

H21年度・啓発用媒体(リーフレット作成)→介護保険通所系事業所に配布 同時に口腔機能向上加算算定状況アンケート実施

H22年度・上記アンケートに回答のあった介護保険通所系事業所に出向いて、口腔機能向上セミナー実施
(内容;口腔機能向上訓練の実際・加算の算定方法実務指導など)

OJTによる
歯科衛生士
人材育成

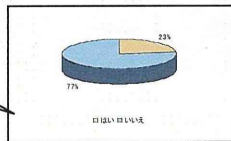
H23年度・介護保険通所系事業所に出向いて、口腔ケアセミナー実施 (内容;口腔ケアの実際) 口腔ケアおよび口腔機能向上の普及を図る

H23年度報告

❖通所系事業所(300事業所)に口腔ケアセミナーの希望の有無とともに、その際に口腔機能向上加算算定の状況をアンケート実施

回答事業所 92 回収率 30.7%

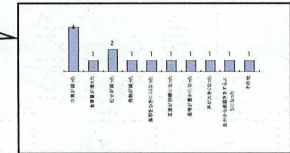
Q)口腔機能向上加算を算定しているか?



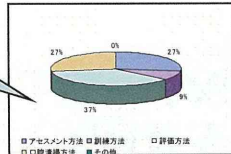
加算に従事している職種は?



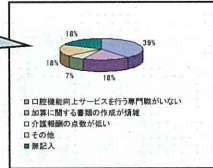
加算をしてからどのような変化があったか?



サービス提供時に不安に感じることは?



加算をしていない事業所が加算をしない理由は?

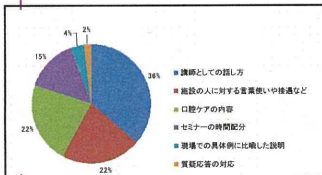


【アンケートから見てきたこと】

- 1)口腔機能向上加算が実施されて利用者にどのような変化があったか、の間に3つ以上の変化に回答したのはサービス責任者が歯科衛生士の場合のみであった
- 2)加算サービス提供時に不安を感じることに複数の項目で回答したのは看護師であった
- 3)加算を設定市内理由からは「口腔機能向上加算」が正しく理解されていないと思われる回答が多かった

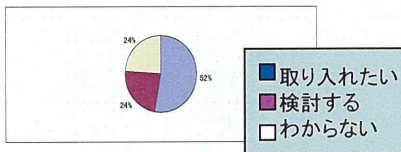
事業所へのアンケート回答

セミナーはどう役立ったか?



口腔ケアセミナー希望事業所 48事業所
口腔ケアセミナー実施事業所 21事業所

今後口腔機能向上加算を取り入れるか?

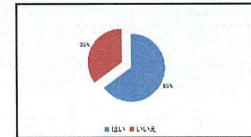


OJTの効果 指導者20名参加 研修生 21名

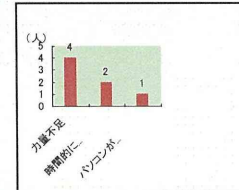
何が役に立ったか?



セミナーの講師をしたいと思いますか?



講師として働くことは?



【アンケートから見てきたこと】

- 1)専門職からの指導があれば「口腔機能向上加算」を取り入れたい事業所は多い
- 2)現場で指導する経験のない歯科衛生士も適切な訓練を受けることで指導者としての自信がつく

介護現場でのOJT実施

e-Learningシステムの概要

平成21～23年度厚生労働科学研究
「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究」

(トップページ)

受講者ログイン

ユーザーID

パスワード

ログイン

[パスワードをお忘れの方はこちら>>](#)

[トップページ](#)

[新規申込\(ID発行\)](#)

[利用規約](#)

[推奨環境](#)

[お問い合わせ](#)

[個人情報保護規定](#)

各種手順書

- [ID、パスワード取得手順書](#)
- [アンケート回答手順書](#)
- [コース申込手順書](#)

事業概要

平成21～23年度厚生労働科学研究「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究」(研究代表者: 菊谷武 日本歯科大学教授)の分担テーマ「口腔機能向上に関するe-Learningシステムの開発」(研究分担者: 西原達次 九州歯科大学教授)として行われているもので、口腔機能向上サービスを実践する方(歯科衛生士、看護師、医師、歯科医師、その他介護に関する職)を対象に、
・有効な教育システムの開発
・職業紹介等を通じた事業所との情報共有・環境整備
・認知症高齢者へのサービス提供体制の整備
の充実を図ることを目的としています。

コースについて

e-Learningシステムを使い、動画等の視覚素材の提供による口腔機能向上に関する知識の普及・啓発を行うため、下記のコースを提供しております。

1. 梨歯びり体操
2. もっとおいしく食べる・ずっとおいしく食べる — 口腔機能向上でおいしさアップ —
3. もっと元気な笑顔になる・ずっと元気な笑顔でいる — 口腔機能向上で元気な笑顔 —
4. もっと楽しく話す・ずっと楽しく話す — 口腔機能向上で楽しい会話 —
5. 一生おいしく食べるための実践的口腔ケア

[サンプル\(デモ版\)を見る](#)

コース受講について

コース受講について

口腔機能向上eラーニングコースを受講にあたり、「IDとパスワードの取得」や「コース視聴前、視聴後アンケートの回答」、「受講するコースの申込」が必要となります。その手順書をダウンロードし、よく読んでから受講するようお

(ログイン後画面)

14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10

(1)修了証の発行
(2)アンケートの集計
(3)新しい番組追加のお知らせ

2. はじめてログインされた方は、上の「コース申込」をクリックして受講するコースを選択ください。
選択いただいたコースは、画面下部の「コース一覧」に表示されます。

3. 「コース一覧」から受講するコースを選択し、「コース学習」をクリックし、受講を開始してください。

4. コース受講が終了した方は、画面上部の[アンケート]メニューをクリックし、【全コンテンツ視聴後アンケート】にお答えください。

なお、学習を終了させる場合は、ログアウトボタンではなく、「×」(ブラウザの閉じるボタン)をクリックください。

お知らせ一覧 (0件)

タイトルをクリックすると内容がごらんになれます。
添付ファイルがあるお知らせには「📎」マークが表示されます。
既読のお知らせには「📧」マークが表示されます。

新着メッセージ... 0件 日記の新着コメント... 0件

コース一覧

| コース名 | 学習開始 | 受講期間 | 閲覧期間 | ステータス |
|--|-------|-----------------------|------|--------|
| もっとおいしく食べる・ずっとおいしく食べる — 口腔機能向上でおいしさアップ — | コース学習 | 2011/01/13-2012/03/31 | - | 受講中 0% |
| もっと楽しく話す・ずっと楽しく話す — 口腔機能向上で楽しい会話 — | コース学習 | 2011/01/13-2012/03/31 | - | 受講中 0% |
| もっと元気な笑顔になる・ずっと元気な笑顔でいる — 口腔機能向上で元気な笑顔 — | コース学習 | 2011/01/13-2012/03/31 | - | 受講中 0% |
| 一生おいしく食べるための実践的口腔ケア | コース学習 | 2011/01/13-2012/03/31 | - | 受講中 0% |
| 梨齒ビリ体操 | コース学習 | 2011/01/13-2012/03/31 | - | 受講中 0% |



第4章 Lesson 2 舌をきれいにする方法

▼ 下のアニメーションを見て、学習しましょう。

③数日に1回～1日1回行えば十分です。
舌をできるだけ外に出して、
手で自分の舌を見ます。
全体的にピンク色であれば舌はきれいな状態です。

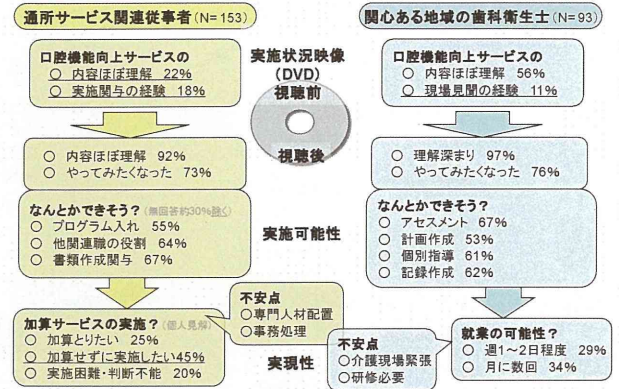
きれいな舌 汚れている舌

平成21-23年度厚生労働科学研究補助金
(長寿科学総合研究事業)
総合研究報告書

「介護予防における口腔機能向上・維持管理の推進に関する研究」

北原分担研究内容のまとめ
「口腔機能向上サービス推進の人材育成・人材確保等の地域基盤の構築」
「口腔機能向上の地域普及に資する住民主体型の啓発活動について」

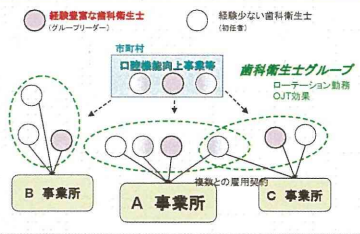
平成21年度北原分担研究 口腔機能向上サービス推進の
人材育成・人材確保等の地域基盤の構築のために



平成21年度北原分担研究 口腔機能向上サービス推進の
人材育成・人材確保等の地域基盤の構築のために

映像情報で歯科衛生士グループ就業例を紹介し、その反応から実現可能性を調査した。グループ登録の潜在的な希望者は約70%であった。

歯科衛生士グループ雇用モデル例



- グループ就業は?
 - とてもよい 62%
 - 可能だ 13%
 - いるかも 41%
 - まだいない 24%
 - 無理 0%
- 可能な仲間の存在?
 - いる 23%
 - いるかも 41%
 - まだいない 24%
- グループ就業登録の希望? (条件次第を含め) 72%
- 具体的な課題
 - 仲間がいない
 - 人数集めることが難しい
 - 業務の調整が必要
 - リーダーとなる人が必要

平成22-23年度北原分担研究 口腔機能向上の地域普及に資する
住民主体型の啓発活動 1

普及員養成講座の実施風景 / お口の体操 (健口体操) 普及員養成事業 (養成講座年6回程度) / 歯科職と保健師等のチームで育成 / 住民主体のエンパワーメント / グループづくりの視点

初年度 50名修了

活動普及員一人の年間普及実績 (延べ数)

- 500人以上: 12%
- 200人以上: 36%
- 100人以上: 70%
- 20人以上: 94%

活動普及員一人の年間普及実績 (延べ数)

- 500人以上: 12%
- 200人以上: 36%
- 100人以上: 70%
- 20人以上: 94%

平成22-23年度北原分担研究 口腔機能向上の地域普及に資する
住民主体型の啓発活動 2

普及員は60歳代が中心

普及員の継続は? (N=48)

- 是非、継続したい: 23%
- 継続したい: 64%
- 少し考えたい: 11%

普及員活動で生活面も向上

- 健康情報に関心
- 生活のハリ
- 地域活動増加
- 運動の増加
- 会話の増加

普及員活動で自分の口腔機能等も向上

- 唾液液活
- 表情豊富
- むせ減少
- 味覚向上
- 口腔管理
- 歯肉改善
- 口腔観察

普及員活動に

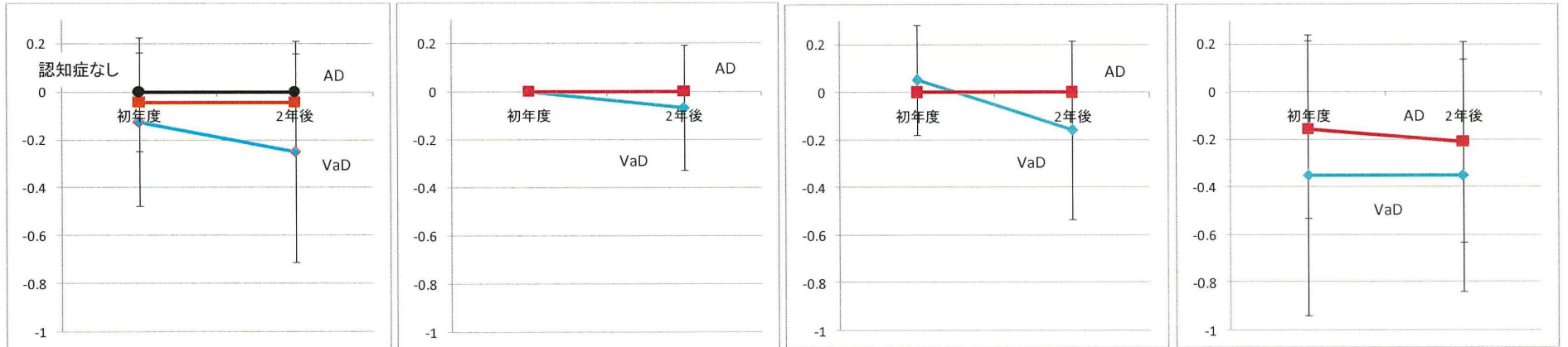
- 時々負担: 42%
- 負担感や困り感?
 - リープ等の媒体
 - さらなる勉強の場
 - 普及の場の確保
 - 連絡や相談の窓口

高いソーシャルキャピタル (社会関連資本) を持つ普及員

- 住んでいる地域に
 - 大いに愛着ある: 79%
 - 近所の助け合いは
 - 大いにある: 40%
 - 近所の人とよく話す: 57%
 - 近所の高齢者の世話は
 - 充分ある: 38%

自治体や専門職からの継続支援の必要性

認知症歯科保健行動の実態調査(追跡調査結果)



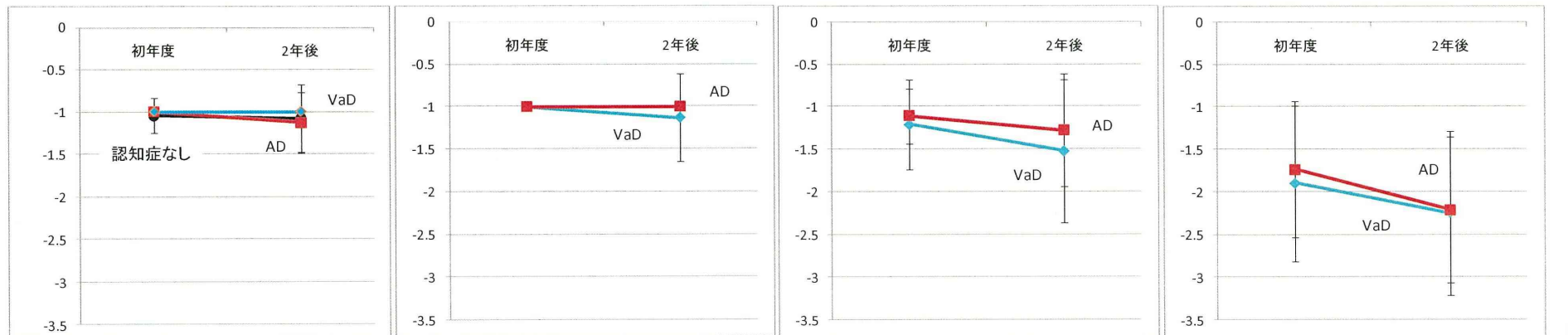
初年度認知症無し群

初年度軽度群

初年度中等度群

初年度重度群

2年間追跡調査における嚥下機能の推移



初年度認知症無し群

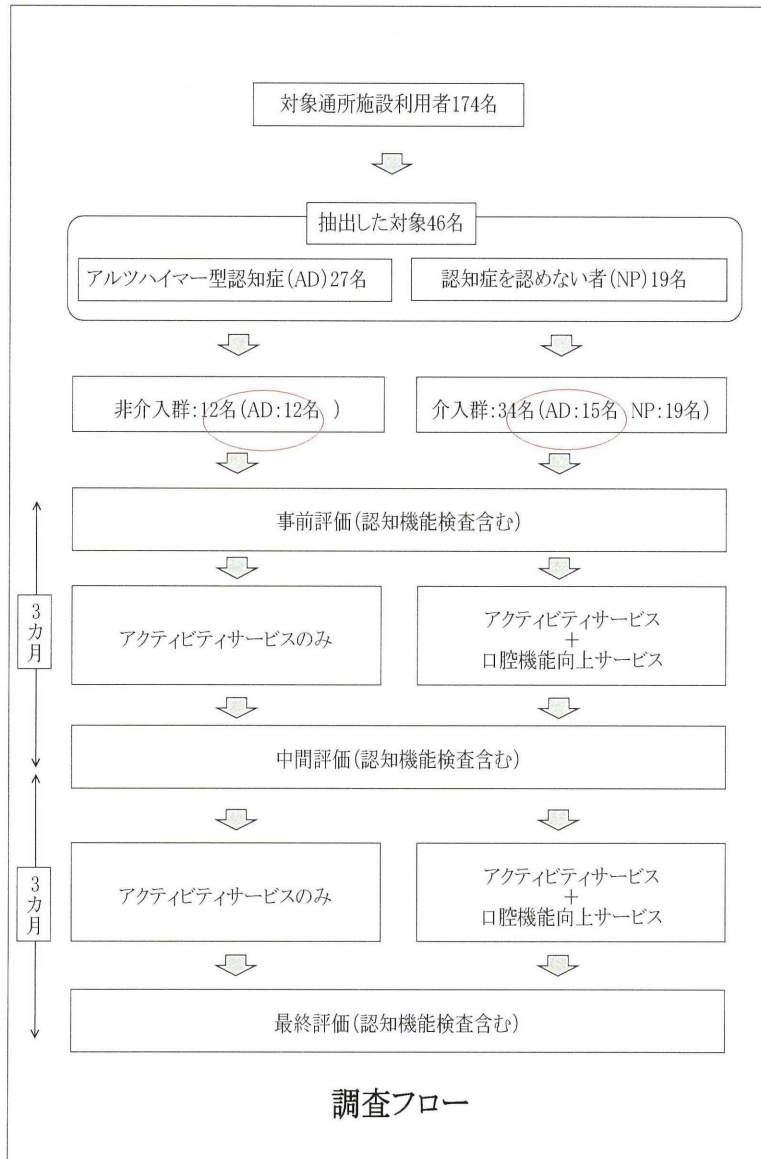
初年度軽度群

初年度中等度群

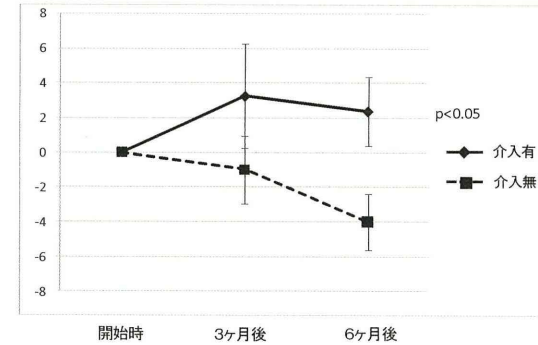
初年度重度群

2年間追跡調査における食事自立度の推移

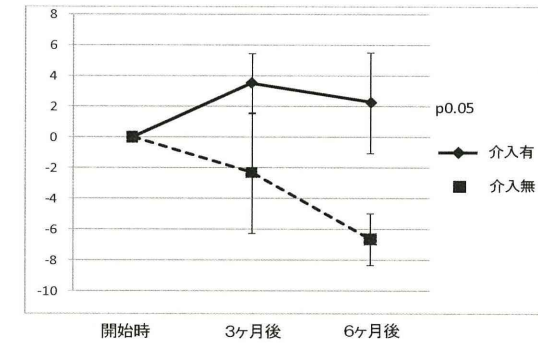
認知機能を把握した上で行う、口腔機能向上サービス提供方法の認知機能への影響に関して検討を行った。



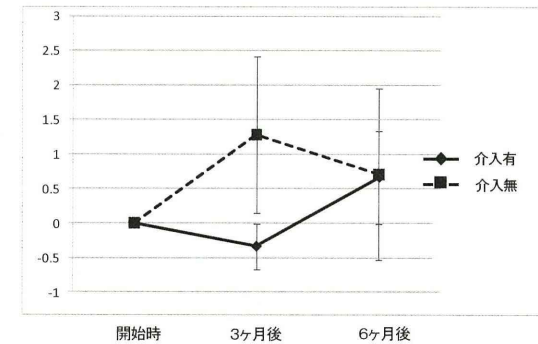
MMSEスコアー変化ポイント 軽度認知症群



MMSEスコアー変化ポイント 中等度認知症群



MMSEスコアー変化ポイント 重度認知症群



口腔機能向上サービス提供は、軽度、中等度のアルツハイマー型認知症高齢者の認知機能低下の抑制効果があることが示唆された。

Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

| 著者氏名 | 論文タイトル名 | 書籍全体の編集者名 | 書 籍 名 | 出版社名 | 出版地 | 出版年 | ページ |
|-----------|--|---------------------------------|---|------------|----------|------------|--------------------|
| 菊谷 武 | 口腔の清潔に関連したところとからだのしくみ | 長谷川和夫 遠藤英俊 | ところとからだのしくみ | 建帛社 | 東京 | 2009 | 63-86 |
| 菊谷 武 | 高齢者・要介護者の口腔ケア 介護保険制度 | 深井稜博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 | 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション 口腔保健推進ハンドブック | 医歯薬出版 | 東京 | 2009 | 100-101 198-200 |
| 菊谷 武 | 摂食機能からみた栄養支援－嚥下内視鏡検査を用いた訪問診療から－ | 国立健康・栄養研究所 | 摂食・嚥下障害を考える口から食べる幸せづくり第3集 | 国立健康・栄養研究所 | 東京 | 2009 | 44-54 |
| 菊谷 武 | 口腔ケア, 誤嚥, 摂食・嚥下障害, 摂食・嚥下リハビリテーション | 井部俊子, 開原成允, 京極高宣, 前沢政次 | 在宅医療辞典 | 中央法規 | 東京 | 2009 | 85, 95, 188-189 |
| 西原 達次 | 口腔内細菌による病気 | 田中健蔵, 北村憲司, 本田武司 | 口腔の病気と全身の健康 | 大道学館 | | 2011 2月 | 20-26 |
| 西原 達次 | 舌苔形成の細菌学的背景 | 柿木保明 | 舌診のすすめ! | HYORON | 東京 | 2010 | 145-149 |
| 八重垣 健 | ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合錠菓の口臭抑制効果と唾液中細菌に対する影響 | 日本ラクトフェリン学会編 | ラクトフェリン2011 | 日本医学館 | 東京 | 2011 | 59-63 |
| Yaegaki K | Induction of apoptosis in humankeratinocyte stem cells: the hydrogen sulfide | Hayat MA | Stem Cells and Cancer Stem Cells: Therapeutic Application in Disease and Injury | Springer | New York | 2011 | 371-376 |
| 植田耕一郎 | 歯科医療従事者による口腔ケアの意義 | 単著 | 日本歯科評論 | ヒョーロン | 東京 | 2011 | 33-40 |

雑誌

| 発表者氏名 | 論文タイトル名 | 発表誌名 | 巻号 | ページ | 出版年 |
|--|--|---------------------|--------|---------|------|
| 相田 潤, 晴佐久悟, 大石憲一, 大石恵美子, 古川清香, 田浦勝彦 | 日本における水道水中のフッ 化物イオン濃度と3歳児う蝕 との関連 | 口腔衛生学会雑 誌 | 59巻4号 | 519 | 2009 |
| 相田 潤, 小齋 薫, 小坂 健 | ソーシャルサポート、ネット ワークを中心とした育児環境 と3歳児う蝕の関連 | 口腔衛生学会雑 誌 | 59巻4号 | 459 | 2009 |
| 相田 潤 | 健康格差と社会的決定要因 | 口腔衛生学会雑 誌 | 59巻4号 | 284 | 2009 |
| 伊藤 奏, 相田 潤, 野口有紀, 大原里子, 北原 稔, 中川律子, 関口晴子, 猪野恵美, 池山豊子, 若栗真太郎, 小坂 健 | 歯科衛生士派遣型の介護予防 プログラムのモデル事業につ いて | 口腔衛生学会雑 誌 | 59巻4号 | 335 | 2009 |
| 菊谷 武 | 摂食・嚥下障害患者の口腔ケ アと地域連携 | 日本医師会雑誌 | 138巻7号 | 1358 | 2009 |
| 菊谷 武 | 特別養護老人ホームにおける 継続的な口腔機能管理の効果 ー口腔ケア・マネジメントを 通じてー | 日本歯科医師会 雑誌 | 62巻 | 506-512 | 2009 |
| 菊谷 武 | 在宅歯科医療と摂食・嚥下リ ハビリテーション | 東京都歯科医師 会雑誌 | 57巻 | 151-157 | 2009 |
| 菊谷 武 | 高齢期における口腔機能の減 退とその評価(1) | 日本歯科大学校 友会・歯学会会報 | 35巻1号 | 7-11 | 2009 |
| 菊谷 武 | 高齢期における口腔機能の減 退とその評価(2) | 日本歯科大学校 友会・歯学会会報 | 35巻2号 | 8-12 | 2009 |
| 菊谷 武 | 高齢期における口腔機能のリ ハビリテーション リハビリテーションの実際 | 日本歯科大学校 友会・歯学会会報 | 35巻3号 | 8-12 | 2010 |
| 小坂 健 | 健康格差の解消に向けて | 口腔衛生学会雑 誌 | 59巻4号 | 285 | 2009 |
| 島田昌子 | 介護老人福祉施設における歯 肉縁上プラークコントロール ー対象者による効果の比較検 討 | 日本歯周病学会 会誌 | 51巻 | 122 | 2009 |
| 関野 愉, 沼部幸博, 久野彰子, 田村文誉, 菊谷 武 | 要介護高齢者における歯周病 学的パラメータと付着の喪失 との相関についてー2年間の 観察研究ー | 日本歯周病学会 会誌 | 51巻 | 126 | 2009 |

| | | | | | |
|---|---|-----------------------|-------|---------|------|
| 関野 愉, 菊谷 武, 田村文誉, 久野彰子, 藤田佑三, 沼部幸博, 島田昌子, 花形哲夫 | 介護老人福祉施設入居者の口腔衛生状態に及ぼす要因の検討 | 老年歯科医学 | 24巻2号 | 188 | 2009 |
| 関野 愉, 久野彰子, 菊谷 武, 田村文誉, 沼部幸博, 島田昌子 | 介護老人福祉施設入居者の歯周疾患罹患状況 | 日本歯周病学会誌 | 51巻3号 | 229-237 | 2009 |
| 田村文誉, 菊谷 武, 須田牧夫, 福井智子, 高橋賢晃, 戸原 雄 | 要介護高齢者の自食用スプーンの選択に関する考察 | 障害者歯科 | 30巻4号 | 556-562 | 2009 |
| 中原孝洋, 西原達次 | e-Learningによる国家試験・CBT向け学習支援システムの構築 | 九州歯科学会 | | | 2009 |
| 中原孝洋, 西原達次, 寺下正道, 福田仁一 | 統合認証によるオンデマンド実習ライブラリシステムの開発 | 第28回日本歯科医学教育学会学術大会 | | | 2009 |
| 野口有紀, 相田 潤, 若栗真太郎, 大原里子, 北原 稔, 中川律子, 関口晴子, 猪野恵美, 池山豊子, 小坂 健 | 歯科衛生士の関わる介護予防「口腔機能の向上」プログラムの効果の検討について | 口腔衛生学会雑誌 | 59巻4号 | 336 | 2009 |
| 花形哲夫, 田村文誉, 菊谷 武, 片桐陽香, 関野 愉, 久野彰子, 古西清司, 高橋幸裕, 矢島彩子, 吉田光由, 鷺見浩平, 三塚憲二 | 介護老人福祉施設における口腔ケア・マネジメントの効果 | 老年歯科医学 | 23巻4号 | 424-434 | 2009 |
| 野口有紀, 相田 潤, 丹田奈緒子, 伊藤恵美, 金高弘恭, 小関健由, 小坂 健 | 介護予防「口腔機能向上」プログラム対象者選定項目と歯科医療ニーズとの関連 要介護者を対象とした分析 | 口腔衛生学会雑誌 | 59巻2号 | 111-117 | 2009 |
| 久野彰子, 菊谷 武, 田村文誉, 関野 愉, 沼部幸博, 島田昌子 | 介護老人福祉施設における唾液中の歯周病関連細菌数と歯周病の進行との関連 | 老年歯科医学 | 24巻2号 | 189 | 2009 |
| 久野彰子, 菊谷 武, 田代晴基, 田村文誉, 濱田 了 | 舌背からの試料採取圧が採取される細菌数に及ぼす影響 | 老年歯科医学 | 24巻4号 | 354-359 | 2010 |
| 若栗真太郎, 相田 潤, 森田 学, 安藤雄一, 小坂 健 | 食器の共用や食物の口移しを注意すれば, う蝕は予防できるのか? | 口腔衛生学会雑誌 | 59巻4号 | 313 | 2009 |
| Hamada R, Suehiro J, Nakano M, Kikutani T, Konishi K. | Development of rapid oral bacteria detection apparatus based on dielectrophoretic impedance measurement method. | IET Nanobiotechnology | 5(2) | 25 | 2011 |
| Kikutani T, Yoneyama T, Nishiwaki K, Tamura F, Yoshida M, Sasaki H. | Effect of oral care on cognitive function in patients with dementia. | Geriatr Gerontol Int | 10(4) | 327-328 | 2010 |